

新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（最終報告）

Schools for the Future 「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する

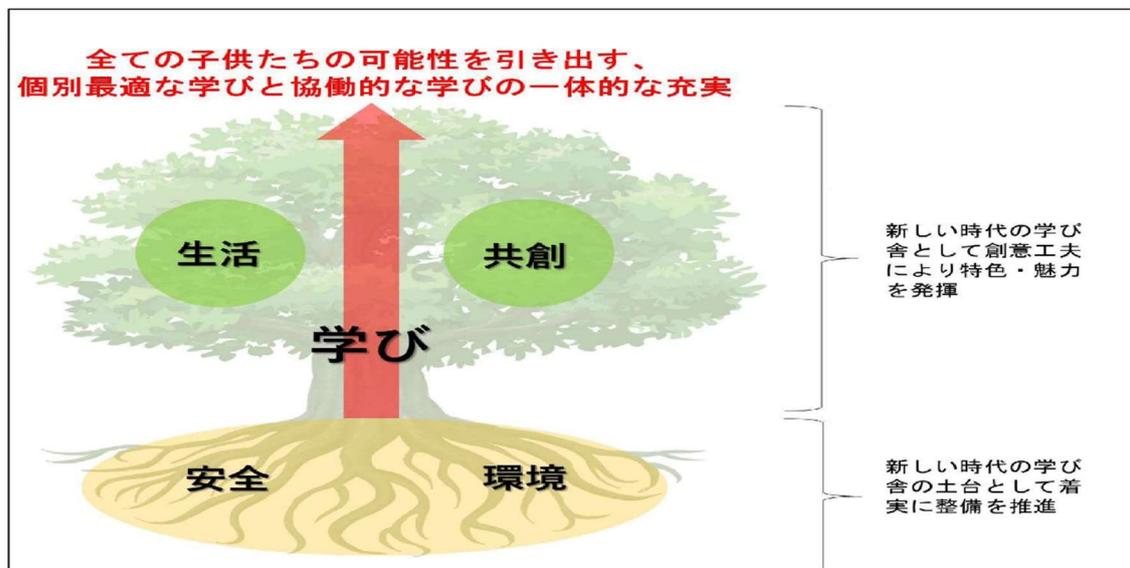
令和4年3月 学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議（文部科学省）

からの抜粋資料

新しい時代の学びを実現する学校施設の姿（ビジョン）

（目指すべき姿）

○「新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮」するものとして、その中心となる「幹」に『学び』を据え、その学びを豊かにしていく「枝」として、『生活』『共創』の空間を実現する。また、「学びの土台として着実に整備を推進」していく「根」として『安全』『環境』の確保を実現する。



【新しい時代の学び舎として創意工夫により特色・魅力を発揮】

- 学び** ≫≫ 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現する
- 生活** ≫≫ 新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現する
- 共創** ≫≫ 地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現する

【新しい時代の学び舎の土台として着実に整備を推進】

- 安全** ≫≫ 子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現する
- 環境** ≫≫ 脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現する